

ヌマダイコン

Adenostemma lavenia (L.) Kuntze
キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本県での生育地、個体数とも極めて少ない。

分 布

本州(関東地方以南)、九州に分布。県内ではおおい町、小浜市。

種の特徴

山間の湿ったところに生える。茎は30～100 cmになる。葉は卵形～卵状長楕円形、長柄があり対生する。葉身は長さ4～20 cm前後。頭花は径5～6 mm、総苞は半球形、総苞片は2列で同長、花後反曲する。

生育を脅かす要因

植生遷移等による生育環境の変化、。

参考文献 福井県植物研究会(1998)、林弥栄・平野隆久(2013)、佐竹義輔ほか(1981)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○			○												

コバナガンクビソウ

Carpesium faberi C.Winkl.
キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

県内では生育地、個体数ともに少ない。

分 布

本州(近畿地方以西)～九州に分布する。県内ではおおい町に分布。

種の特徴

山地林内に稀に見られる。茎の高さ50～70 cm、軟毛がある。下部の茎は長い柄をもち、柄とともに長さ10～14 cmほど、葉身は卵状楕円形、先は尖り、基部はくさび形。上部の葉は線状披針形となる。頭花は小型で総苞は鐘球形、長さ4 mm、径4～5 mm、片は4列。

生育を脅かす要因

植生の遷移等による生育環境の変化。

参考文献 佐竹義輔ほか(1981)、畔上能力ほか(2013)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○															

ヒメガンクビソウ

Carpesium rosulatum Miq.
キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内の生育地、個体数ともに少ない。

分 布

国内では関東地方以西～九州に分布する。若狭町、おおい町、高浜町。

種の特徴

低山の林内に生える。茎は高さ15～40 cm。根生葉はロゼット状で花時にもある。茎葉は少なく小形でまばらにつく。頭花は枝先につき総苞は筒鐘形。長さ6 cm程。片は3列、外片は卵形で反曲する。

生育を脅かす要因

植生遷移等による生育環境の変化。

参考文献 福井県植物研究会(1998)、畔上能力ほか(2013)、佐竹義輔ほか(1981)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○														